



UCHIDA

ClickShare [クリックシェア]

CSE-200 CSE-200CollaboSuite

リリースノート

バージョン 01.11.00.02 — 2020/12/25 公開

- ※ Microsoft、Windows は、米国マイクロソフト社の米国及びその他の国における登録商標です。
 - ※ Apple、Mac、Mac OS は、米国 Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - ※ その他システム名、プログラム名などは、一般に各社の登録商標です。
-

■ 今回のリリースでの改善事項

- ・ ボタンがしばらくすると接続できなくなる問題
- ・ CSR 生成プロセスの後、SAN 値が欠落する問題
- ・ 複数のセキュリティ問題

■ 既知の不具合

- ・ Base Unit が完全に起動する前に接続されていると、ボタンを接続できないことがあります。詳しくは、<https://www.barco.com/en/support/knowledge-base/kb8293> をご参照ください。
- ・ タッチバックが誤った座標を登録したり、広範な使用後に動作を停止したりする場合があります。

■ 注意事項

- ・ 本ファームウェアのインストール後に v01.10.00 より前のバージョンにダウングレードすることはできません。
- ・ ファームウェア 01.08 において、ネットワーク統合の設定方法が変更になっております。ボタンを社内 LAN に接続して利用している場合は、ファームウェア更新後接続できなくなる可能性があります。新しいネットワーク統合の設定方法については、ネットワーク統合ガイドおよび各製品マニュアルに記載されていますのでご参照ください。
- ・ 本ファームウェアでは、有効期限が切れた（自己署名）証明書の自動更新のメカニズムを導入しています。ユーザーはこのプロセスに特に気づくことはありません。
- ・ 1.8 以降のファームウェアでは、証明書のない古いボタン（製品番号 R9861006D01）のサポートは、CS-100、CSE-200、CSE-200 +、および CSE-800 モデルでは廃止されました。CSM、CSC-1 に同梱のボタンとの互換性がなくなりましたのでご注意ください。
- ・ MirrorOp のサポートは廃止されました。ClickShare アプリを使用することをお勧めします。
- ・ ClickShare の Windows ドライバーがボタンを検出するには、更新が必要です。これは、Wi-Fi 経由の更新を介して自動的に行われます。または、ボタンをそれぞれのベースユニットに接続することで、手動でペアリングおよび更新できます。詳細については、<https://www.barco.com/en/support/knowledge-base/KB9619> をご覧ください。
- ・ パッシブ HDMI は、HDMI の仕様より多くの電力を消費する VGA コンバータへの変換は機能しません。アクティブコンバータを推奨します。
- ・ ボタンが接続できない場合がまれにあります。その場合はボタンを再度ペアリングしてください。

- ・ ボタンのペアリングが動作しない場合が稀にあります。その場合、本体の電源を抜いて再起動し、ボタンを再度ペアリングしてください。
- ・ AirPlay で接続不良、動作不良が発生した場合は、次の回避策をお試しください。
 - ◇ ClickShare アプリを Airplay の代わりとして使用してください。アプリはすべての主要なプラットフォーム（Windows、macOS、Android、iOS）で利用でき、月次でアップデートされており、すべての ClickShare Present Base Unit と互換性があります。また、Airplay にはない機能も提供します。
 - ◇ ベースユニットを定期的に再起動して、問題が発生しないようにします。デバイスの一括再起動スケジュールは、eXperience Management Suite (XMS) を使用して実行できます。
- ・ Airplay を使用した動画のビデオ再生（音声付動画、Youtube App）が動作しない場合があります。今後のリリースで解決する予定です。
- ・ Android 端末では、AndroidOS の仕様上、音声の共有ができません。

■ 過去のリリースの主な新機能(01.10.00.13)

- ・ ボタンの DFS サポート(R9861500D01 および R9861500D01C)
 - ◇ 更新すると、ClickShare ボタンは UNII-2A バンドの DFS チャンネルに接続できるようになります。
 - ◇ R9861500D01 および R9861500D01C に限定された機能
 - ◇ Base Unit と EU または NA SKU 拡張ユニットをペアにしたボタンに限定された機能

- ・ [BETA] SCEP サーバの追加サポートを追加します。
 - ◇ NDES (Network Device Enrollment Service) による SCEP 登録の既存のサポートの横に、他の汎用サーバーの初期サポートが追加されました。
- ・ NDES/SCEP 登録に使用できるパラメータを拡張しました。

■ 過去のリリースでの改善事項(01.10.00.13)

- ・ Airplay サービスに対するいくつかの不安定性
 - ◇ 解像度 1366x768 の複製モードでの共有の問題。
 - ◇ AirPlay ベースユニットとの接続が失われ、再接続できずリセットが必要。
 - ◇ 画面共有により、投影の遅延が生じる。
- ・ 会議室名を表示するために ClickShare アプリで使用できる文字数の制限
- ・ CSRF 保護を含む、ClickShare Configurator のセキュリティの向上
- ・ CVE-2019-18824 を含むいくつかのセキュリティトピック
- ・ TouchBack がしばらくして動作を停止する場合がある問題
- ・ IGMP パケットが Base Unit によって送信されなかった問題

■ 過去のリリースの主な新機能(01.09.02.12)

- ・ ClickShare デスクトップアプリで、アプリの共有などの機能を利用できます。
- ・ Apple デバイスで、Bluetooth を使用して、ベースユニットを簡単に検出できるようになりました。
- ・ ワイヤレススペクトルの使用増加を避けるため、Miracast MICE を導入しました。既存の企業インフラストラクチャを使用して、以前と同じ操作性で利用できます。

■ 過去のリリースでの改善事項(01.09.02.12)

- ・ デスクトップアプリは、有線ネットワーク接続ではなく、ベースユニットの Wi-Fi に接続する傾向があった不具合を改善しました。
- ・ ボタン上で動作するデスクトップアプリは、いくつかのバグ修正とエクスペリエンスの改善を行いました。
- ・ 2.4 GHz のスタンドアロンモードでボタンを使用すると、ビデオのパフォーマンスが最適にならない不具合を改善しました。
- ・ 以前のバージョンの ClickShare 管理画面での完全バックアップのパラメーターが欠落している不具合を改善しました。
- ・ REST インターフェースでの一時的な DoS を止める不具合を解消しました。
- ・ HTTPS 用の自己署名証明書を再生成すると、エラーページが表示する不具合を解消しました。
- ・ セキュリティレベルを変更すると、確認を求めずに設定がすぐに適用されてしまう不具合を解消しました。
- ・ Button 接続先一覧に、一部の設定が正しく適用されない不具合を解消しました。

■ 過去の主な新機能(01.09.01.07)

- ・ ClickShare デスクトップアプリがボタンに組み込まれました。
- ・ Apple デバイスは Bluetooth を使用して、ベースユニットを簡単に検出できるようになりました。

■ 過去の改善事項(01.09.01.07)

- ・ 設定が消失し、ネットワーク統合で認証エラーが発生する問題を改善しました。
- ・ 断続的にアップグレードした後、XMS でユニットを管理できなくなる問題を改善しました。
- ・ 会議室名として入力された中国語の文字がモバイルアプリに反映されない問題を改善しました。
- ・ セキュリティレポート CVE-2019-18827、CVE-2019-18830、CVE-2019-18831、CVE-2019-18826、CVE-2019-18828 に含まれる問題を一部改善しました。

■ 過去の新機能(v01.08.01.02) (内田洋行 web ページ未公開の 01.08.00.06 での新機能を含む)

- ・ カスタムボタン統合機能により、ボタン接続とベースユニットのワイヤレス設定の両方を個別に完全に制御できるため、ClickShare デバイスを統合する際の柔軟性が向上します。これにより、ボタンが企業ネットワークに完全に統合されたときに ClickShare デスクトップアプリのプレゼンス検出を有効にし、ゲストまたは BYOD の直接接続をサポートできます。
- ・ Windows 7、8、8.1、および 10 での ClickShare Button に対する Windows ドライバーのサポート。Windows ドライバーは、共有する前に手動で操作する必要をなくすことにより、ClickShare Button 操作の最後の障害を取り除きます。Windows ドライバーは、ボタンで ClickShare クライアントを自動的に起動し、ユーザーの操作なしでボタンをクリックできるようにします。Windows pc は、ClickShare Button を最初に挿入すると、Windows Update ストアからドライバーを自動的にダウンロードします（インターネット接続が必要です）。
- ・ ボタンがコンテンツをベースユニットと共有しているときにノート PC がスタンバイになるのを防ぎ、プレゼンテーション中の操作性を向上させます。

■ 過去の改善事項(内田洋行 web ページ未公開の 01.08.00.06 での改善事項を含む)

- ・ 特定の場合に、内部 Wi-Fi モジュールが使用できなくなり、ベースユニットの再起動が必要になっていた不具合を解決しました。
- ・ 再起動後に EAP-TLS 認証が機能しないことがあるという不具合を解決しました。
- ・ ClickShare の構成ページに、変更が適用されたことを確認するメッセージが表示されない不具合を解決しました。
- ・ ClickShare Configurator を介して証明書をアップロードできない問題を解決しました。
注：この問題は、802.1x 有線認証を使用して手動で証明書をアップロードして新しい構成を行う場合、または再構成を行う場合にのみ発生します。
- ・ EAP を使用して 802.1x を設定し、証明書を手動でアップロードすると、「有効な mimetype で値を入力してください」という結果になるという不具合を解決しました。

■ 過去の新機能(v01.07.001.01)

- ・ このファームウェアは、5 GHz Wi-Fi 帯域を主に利用している企業での利便性を向上させます。ネットワーク統合モードにおいて、SSID が両方の帯域に同程度の品質レベルで存在する場合、ClickShare ボタンは 2.4GHz 帯域よりも 5GHz 帯域との接続を優先します
- ・ さらに、2.4 GHz 帯域でのスキャン動作が改善され、ボタンがネットワーク統合モードで最適なアクセスポイントに確実に接続されるようになりました。

■ 過去に改善した事項(v01.07.00.22) (内田洋行 web ページ未公開の 01.06.04.04 での改善事項を含む)

- ・ タッチでベースユニットの設定を変更すると動作しなくなる問題を解決しました。
- ・ ファームウェアのアップデート後に固定 IP が失われる問題を解決しました。

- ・ ネットワークケーブルが接続されていない場合、固定 IP が保存されない問題を解決しました。
- ・ イーサネット経由でホスト名を使用してベースユニットにアクセスすると、デバイスはデバイスの IP にリダイレクトされる問題を解決しました。
- ・ 一部の CS-100 および CSE-200 ユニットで、まれに出力がフリーズし、再起動が必要になる問題を解決しました。
- ・ ネットワーク統合を有効にすると、ID またはパスワードにスラッシュまたはバックスラッシュを使用できるようになりました
- ・ モバイルデバイスで ClickShare Wi-fi に接続したときに、データ接続が利用できなくなる問題を解決しました。
- ・ 10 台以上のボタンが接続できなくなる問題を解決しました。
- ・ Windows Defender の「構成のランダム化」設定をオンにすると、ClickShare アプリケーションの利用ができなくなる問題を解決しました。
- ・ 特定の日本語文字が表示されない問題を解決しました。

■ 過去の新機能(v01.07.00.22)

- ・ デフォルトのモニタリングソフトウェアでベースユニットとボタンをモニタリングするための SNMPv3 のサポート
- ・ https のカスタム証明書をサポートし、ClickShare 設定ページを参照するときのプライバシーアラートを回避します。
- ・ PEAP、EAP-TLS、および EAP-TTLS を含む 802.1x 有線認証のサポート

- ・ 証明書チェーン IT アーキテクチャに準拠するためのマルチルート証明書のサポート
- ・ Wi-Fi ビーコンによるプレゼンス検出機能付き ClickShare アプリのサポート

■ 過去の主な新機能(v01.06.01.02)

- ・ 拡張パック(ExtensionPack)バージョン 01.01 以上に対応しました。

■ 過去に改善した事項(v01.06.01.02)

- ・ 完全ネットワーク統合モードでボタンが常に最も近いアクセスポイントに接続するとは限らない問題を修正しました。
- ・ セキュリティ修正 : CVE-2018-5390、CVE-2018-5391、CVE-2017-8890、CVE-2018-10943
- ・ パスワードに特殊文字を使用した場合の EAP の問題を修正しました。
- ・ REST API での解像度の変更は、マニュアルに記載されているものとは異なる方法で行う必要がある問題を解決しました。
- ・ 解像度を変更する API が機能しない問題を解決しました。
- ・ WebUI でのフランス語の表記の誤植を修正しました。
- ・ ノルウェー語の間違った翻訳を修正しました。
- ・ ベースユニットがランダムな瞬間にリポートする問題を解決しました。
- ・ スタンドアロンモードで Airplay が表示可能だが共有できない問題を解決しました。
- ・ CNI で Airplay が見えるが共有できない問題を解決しました。

■ 過去の主な新機能(v01.06.00.03)

- ・ タッチバックに対応しました。
- ・ ボタンマネージャに対応しました。

- ・ ClickShare クライアントに新しい証明書が署名されました。
- ・ Windows7 で、'More Capture'モードがデフォルトで使用されるようになりました。

■ 過去に改善した事項(v01.06.00.03)

- ・ ボタンが完全ネットワーク統合モードで最も近いアクセスポイントに常に接続するとは限らない問題を改善しました。
- ・ パスワードに特殊文字を使用した場合の EAP の問題を改善しました。
- ・ CSE-200 で「ClickShare サーバーエラー」が発生した問題を改善しました。

■ 関連する資料

ClickShare の詳細な使い方については、「ClickShare ユーザーガイド」「ClickShare 設置マニュアル」をご覧ください。これらは、内田洋行 web サイト ClickShare ユーザーサポートページよりダウンロード頂けます。(URL : <http://office.uchida.co.jp/ict/clickshare/support.html>)